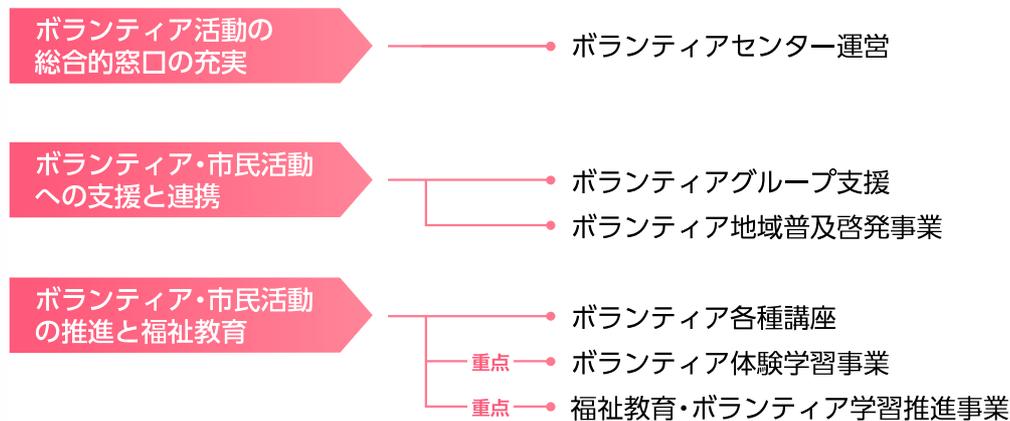


基本目標4 ボランティアの育成と活動の充実

福祉コミュニティの形成の流れを生み出す人材の育成を目指し、ボランティア意識の啓発と参加・情報提供の機会の拡大を図ります。

また、NPOやボランティア団体との連携・協働を推進し、団体相互の活動の活性化を図り、新たな市民活動のあり方を研究・推進・支援します。

推進項目体系



【第2次計画との変更点】

※「防災・災害ボランティア支援事業」→「災害ボランティアセンター運営」

平成28年度より事業名変更(基本目標6へ移動)

福祉分野を中心としたボランティアコーディネートに加え、まちづくりや環境問題、国際交流、防災・減災を推進するような市民活動を行う個人・団体の活動の充実や自立に向けた支援を行い、連携を図ります。

No.
48

事業名称 **ボランティアグループ支援事業**

区分 継続

事業の内容

市内に活動拠点のあるボランティアグループ及びボランティア連絡会組織を支援し、ボランティア団体活動の活性化を図ります。

ボランティアグループ及びボランティア連絡会活動にかかる資金面の支援や広報・宣伝等、情報活動に関する支援を行います。

今後の取り組み

- ① ボランティアグループの課題等を把握し、活動の発展につながるよう支援します。
- ② 区ボランティア連絡会等の活動がより活性化されるよう、情報共有等を行い、連携を強化します。

【見直し(平成34年度)までの年次計画】

年次計画	平成29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
①把握・支援	→					
②実施	→					

No.
49

事業名称 **ボランティア地域普及啓発事業**

区分 継続

事業の内容

ボランティア団体等と共に、講演会・イベントの開催や区民祭り等へ参加し、多くの住民に福祉意識の高揚と地域福祉の推進についての理解が得られるよう、啓発を行います。

今後の取り組み

- ① 啓発活動の充実と啓発効果を上げるため、本会のホームページ等を活用し、新たな情報発信の方法等を検討します。
- ② 企業や関係機関、ボランティアグループと連携・協働して実施します。

【見直し(平成34年度)までの年次計画】

年次計画	平成29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
①検討	→					
②実施	→					

ボランティア活動の実践や各種講座の開催等を通じ、住民の福祉意識を高めるように働きかけます。また、学生のボランティア活動や地域・学校などにおける福祉教育への支援を行います。

No.
50

事業名称 **ボランティア各種講座**

区分 **継続**

事業の内容

初めてボランティア活動を行う人を主な対象とした入門講座の企画、専門分野のボランティアを養成する講座、住民の福祉意識を高揚する講座等を企画し、新たなボランティア人材の発掘及び育成を図ります。

今後の取り組み

- ①地域の状況等に応じた講座を関係機関等と連携・協働し、全区で企画・実施していきます。
- ②ボランティア活動に至るまでをフォローすることのできる講座の企画・実施をしていきます。

【見直し(平成34年度)までの年次計画】

年次計画	平成29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
①企画・実施	▶					
②企画・実施	▶					

No.
51

事業名称 **ボランティア体験学習事業**

区分 **重点**

事業の内容

地域でのボランティア体験を通じ、参加者が地域の社会的課題に目を向け、ボランティア活動に対する理解を深めるとともに、本事業を福祉施設、ボランティア・市民活動団体等との協働で実施することにより、地域ぐるみでボランティアを育成する機運を高めていきます。

今後の取り組み

- ①新たな参加者の拡大につながるようなプログラムの見直し・開発を行うとともに、幅広い関係機関との協働したプログラムについても検討していきます。
- ②新たな参加者を拡大するための周知方法の見直しを行います。

【見直し(平成34年度)までの年次計画】

年次計画	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
①見直し・検討	▶					
②見直し	▶					

No.
52

事業名称 福祉教育・ボランティア学習推進事業

区分 重点

事業の内容

学校や地域団体・企業等からの福祉教育に関する企画相談や助言、また、福祉教育やボランティア学習に関する講師の紹介を通じて、「地域を基盤とした福祉教育・学習活動の推進」を行い、地域の福祉力の向上を目指します。

今後の取り組み

- ①福祉教育協力者の情報を整理し、活動状況等を把握します。
- ②地区社会福祉協議会や福祉施設、企業等と連携した取り組みを検討していきます。
- ③学校等の福祉教育への取り組み状況等を踏まえたパンフレットを作成します。
- ④福祉教育協力者の情報交換の場を設定するなどして、課題等を共有し、福祉教育協力者の活動がより充実するよう支援方法を検討します。
- ⑤障害や障害者についての正しい理解の促進を図るとともに、個人の尊厳・人権等の意識を深めていきます。

【見直し(平成34年度)までの年次計画】

年次計画	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
①整理・把握	→					
②検討	→					
③作成		→				
④検討		→				
⑤実施	→					